

上尾市長選挙を闘って

前埼玉県上尾市議会議員 秋山かほる

急ぎよの市長選挙（昨年12月）の取り組みに対し、多くのご支援をいただきましたことを心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、力足らずで落選し、ご期待にすることができずに申しわけありませんでした。

ここで経過を少し報告致します。

みなさんもお存知の通り、島村市長・田中議長が明石産業に対し入札に便宜を図ったこと、議長は現金を受け取っていたことで同時に逮捕されました。全国初ということで、マスコミにも全国報道されました。すぐに支持者たちを集めて相談会を持ちました。

私は、前回県議選の直前に頸椎破裂骨折という大けがをして、県議選を闘い敗れたこと、そして市議に復帰して2年たっておらず、昨年4月には骨を支えていた6本のボルトを抜く手術をしたばかりということで、私自身が立候補することは当初考えていませんでした。

私たちが市長選挙を取り組み勝てるとしたら、先の立憲民主党から誰か候補者を擁立してくれるように頼むことが得策という結論に達しました。私は翌日、文章を持ってお隣さいたま市の枝野事務所に正式に要請に行きました。総会に出かける直前に「地方組織を作る前の取り組みは難しい」という返事がきました。

帰って、金・土・日と所属する団体のイベントがあり、日曜日の夜に急ぎよ枝野事務所からの回答を持って対策を考える会議の会場を抑え、総会へ出発。帰る途中で、市長も現金を受け取っていたということで再逮捕の情報が入りました。金曜日、立候補説明会に取りあえず夫に行ってもらい、私はイベントの準備。土曜の新聞には私が立候補か、という記事が載りました。

◆金権体質が続く上尾市

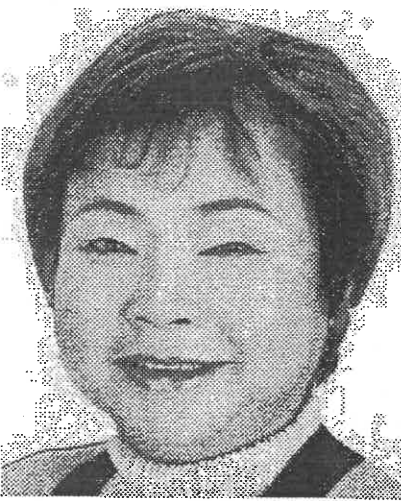
上尾市は金権体質が続く市です。自民党が金銭の授受で共産党市政に代わり、さら

に金銭授受の問題で自民党が権力を取り戻し、その後利権を巡り自民党が二つに分かれて争う事態となりました。先の県議選でも自民党と名乗る候補者が2名出ています。市長派自民党と県議派自民党です。この対立は常にあり、市長派自民党が自民党県議を抑えるために、市議会では野党の畠山氏を県議に当選させるために動きました。はなから市長と仲良しだったので、さもありませんと思っただけです。

野党の県議を市長に担いだのが、逮捕者を出した自民党市長派の面々でした。そして対立する自民党県議派から出る候補者は自民党県連に2度公認申請をしていました。公明党の票も集められる可能性がありました。しかし、時期がまずいと断られ、次は民進党と会派を組んでいたもので、会派から市長選に出るということで駅頭にも立っていました。しかし同じ政党の県議が出馬なので、希望の党へ行った地元国会議員大島氏からクレームが入りました。

共産党は常に独自候補を立てていましたので、私はてっきり今回も候補者を立てるものと思っていました。しかしビックリ、共産党は自民党県連に公認申請をしていた候補者の応援を決めていたのです。そして、衆議院選挙を共産党公認で闘った人を市議会議員の補欠選挙の候補者にしていました。なんということでしょうか。市長、議長同時逮捕という全国に例を見ない金権体質を明らかにした上尾市で、その当事者の自民党の応援する人たちしか、出直し市長選挙に出ないのです。

共産党が推す自民党候補は、地域でも有名な親の代から支部長を務めた力のある家柄



で、県連の後押しで特養も経営しています。上尾では市長選挙は1億円から2億円をかけるといわれています。私の家も昔からの家柄なので、爺さんの代からよく知る間柄。彼の支持者が家の爺さんに1億円を用意できるのかと脅かしてきました。県議派自民党の候補者は、そんな私を「力もないのに」と笑っていたそうです。かれのいう「力」はお金。家のすぐそばにも自民党が経営する特養があります。社員寮という名目で、息子の家やアパートを税金でタダ同然で建てています。

みなさんもお存知のように、茶谷事件というのが埼玉でありました。介護施設をめぐる税金の着服問題でした。県内で上尾市が断トツに多い金額を手にしていました。上尾にはその体質があります。特別に補助金の多い特養を経験もなく建てるには、県連の後押しが欠かせません。彼はよほどお金があるのでしょう。だから上尾市は当選するとみな、金権体質に走るのです。私に入る談合情報は、役所も議員もグルになって税金を着服しているというもの。地域も含め、利権の体質が行きわたっている市です。

だから学校にもお金が回らず、待機児童も多く、学童保育料も一律で高止まり、運営補助もありません。給食も公費補助がなく学校まかせなので、給食費は高止まりで、学校ごとに実施回数や内容も違う現状があります。

◆許されない区長の横暴

住民組織は区長制度で、区長は市から報酬の出る嘱託職員です。選挙はできないはずなのに、自民党は区長を先頭に選挙運動をします。そして言うことを聞かない家には、広報も配らないことが許されています。埼玉弁護士会から広報を全市民に配布しないのは、人権侵害であると勧告されていますが、市長はそんなことはおかまいなしです。市から区長に広報を配るようお願いしていますが、強制ではありません。よって組織率が半分しかない地域も多くあり、広報さえ配られない世帯が多いのです。

また、最近の分譲住宅では不動産業者が毎月広報を市に取りに来て、各家庭に配っているという情けない状況も見られます。私は何度もこの人権侵害を正すように市に迫りまし

たがいまだ改善されません。各支所に配置される職員は、区長制度で広報も配られない家が多いこと、彼らは地域の助け合いや行事には参加しないことに不安も抱いていて、この制度では限界が来ているということも聞いています。

昨年から介護保険の要支援1、2が市の事業になり、地域の役割も増えています。古い人たちだけでは、難しい事態になっています。しかし、市は何ら改善しようとする気はありません。これが地域支配の要だからです。だから、市政にそっぽを向く市民が多いのです。投票率は3割です。いつもと大して変わりませんでした。こんなに住民サービスにお金を使わず、単独公共事業に大きな出費を続ける市の財政は県内ワースト3です。

私はこの市政を変えることができるでしょうか。

正月明けから宣伝活動を始めています。どうすれば勝つことができるのか、会議を繰り返しながら、試行錯誤で活動を始めています。私は有機農業の生産者であり、今も農業を続けています。異常気象の影響でこちらも大変です。4月には種子法も廃止され、農業は風前の灯になります。でも、闘わなければ生きられない世の中なら徹底してやるしかない。それが私の信条です。

上尾では誰にも負けない市議会活動をしてきました。でも上尾では選挙って金だよ！といわれるとそれはありません。そんな市がおかしいのです。またこれからもみなさんと共にがんばる覚悟は変わりません。どうぞ、よろしくお願い致します。

そして、みなさんの応援に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

上尾市長選結果

(2017年12月17日投票)

秋山かほる	8,591	
(当) 畠山 稔	30,485	前民進県議 (上尾自民党)
鈴木 茂	24,695	前自民市議 (自民党・共産推薦)
石山勝朗	1,407	元県職員